2012年度　人権教育年間計画

○○小学校

１．研究主題

自分に自信を持ち、仲間と豊かにつながる子どもの育成 ～人権教育の３つの柱を活かした学校づくりを通して～

２．主題設定の理由

本校の学校教育目標は、「夢を持ち、仲間と共に元気に学ぶ子どもの育成」である。この目標を具現化するためには、①子ども一人ひとりの願いに基づいた支援が受けられること、②子どもたちが互いの思いを伝え合い、仲間との関わりの中で自分の居場所や良さ（自分らしさ）を実感できること、③様々な人・もの・こととの出会いを通して、将来への展望（希望）や自分たちが持っている可能性を自覚できること、が必要である。

本校では、これまでにも関係機関・団体と連携した「子ども支援体制づくり」や特別活動や教育相談を活かした「学級づくり」、人権集会や交流活動・道徳・各教科の学習を通した「出会いや関わりの場づくり」「わかる・できる授業づくり」に取り組んできている。このような取り組みを通して、学校での子どもたちの笑顔が確実に広がってきている。しかし、子どもたちの現状を見た時、自分の良さや居場所を実感できないでいたり、互いの思いを伝え合いながら自分たちで問題を解決したり願いを実現したりしていくすばらしさを実感できないでいる子どもたちがいる。また、本校には社会的に差別を受けかねない立場にいる子どもたちも存在している。

このような子どもたちが、様々な人・もの・こととの出会いや仲間と豊かにつながる体験通して、自分の居場所を見つけ、自分の立場や生き方に自信や夢（展望）を持てるようになることをめざして、本研究主題を設定した。

人権教育の目標は、「すべての子どもたちに『自分自身が価値ある存在であるという実感』と『自分の立場と生き方に希望と誇りを持つこと』を保障しながら、『仲間とともに差別を乗り越え，未来を切り拓いていく力』を育んでいく」ことであり、文部科学省や佐賀県人権･同和教育研究協議会では、人権教育の取り組みの柱として「人権が尊重される環境づくり」「人権が尊重される人間関係づくり」「人権が尊重される学習活動づくり」の３つが提起されている。本校における人権教育の推進にあたっては、学校の教育活動全体をこの３つの柱に整理し、人権教育の推進を通して本校学校教育目標の具現化をめざしていきたい。

３．めざす子ども像

○自分の存在に自信を持ち、学校での活動に意欲的に取り組む子ども〈自立〉
○互いを理解し合い、協力して問題を解決したり、願いを実現したりする子ども〈共生〉
○様々な出会いを通して、自分の将来に夢や展望を持つ子ども〈創造〉

４．研究の内容と具体的方策

（１）人権が尊重される環境づくり

①職員研修

- ●人権教育推進のために必要な内容について、校内での職員研修を実施する。
- ●校外での人権教育に関する一人一研修を推進する。
- ●人権総合学習に関わる行事に全職員が年間１回は参加し、研修を深める。

②子ども支援体制づくり

- ●特別支援コーディネーターを中心となって校内特別支援教育委員会を開催し、支援が必要な子どもたちに対する具体的な支援や役割分担について決定する。（定期：毎月第１木曜日、臨時：必要に応じて開催）
- ●生徒指導・教育相談協議会を開催し、支援方針や役割分担について共通理解を図る。（毎月第４水曜日）
- ●生活指導員との連携を図るための連絡会を開催する。（毎月第４金曜日）

（２）人権が尊重される人間関係づくり

①子ども一人ひとりの思いや願い・くらしをつかむ取り組みの推進

- ●毎月１回、第１火曜日に「命の日アンケート」を実施し、子どもたちの悩みやくらしをつかむ。
- ●「心の木（心の葉、心の実、心の花）」の取り組みを通して、自己理解や他者理解を深める。
- ●家庭訪問や個人懇談などを通して、子どものくらしや保護者の思いをつかむ。

②自分たちで考え、行動し、認められる活動づくり

- ●学校全体として…学校行事、児童集会、なかよしタイム（縦割り活動）、委員会活動、クラブ活動、などを通して、子どもたちの自主的・創造的な活動の場づくりを行う。
- ●各学級・学年で…話し合い活動、係活動、学級の集会活動、朝の会・帰りの会などを通して、子ども同士の人間関係づくりを進める。

（３）人権が尊重される学習活動づくり

①学校行事や総合的な学習の時間を活用した人権学習づくり

- ●学期に１回、人権集会を開催し、人権に関する学びの場を創り出す。
- ●８月の全校登校日に平和集会を開催し、平和に関する学びの場を創り出す。
- ●○○特別支援学校との交流を通して、共生に関する学びの場を創り出す。

②各学年の発達段階にあわせた人権学習の実施

- ●各学年の発達段階にあわせた人権学習を、朝の時間や道徳や各教科等を活用して実施する。（人権教室、ふれあい道徳、全校一斉の道徳の時間など）
- ●特別支援学級を含めた子ども同士の相互理解を促進する人権学習を実施する。
- ●６年生社会科における部落史学習を実施する。
- ●「わかる」「できる」喜びを味わう子どもを育てる授業づくり

５．年間計画

月	環境づくり	人間関係づくり	学習活動づくり
4	●校内職員研修（随時） ●校内特別支援教育委員会（毎月・随時） ●生徒指導・教育相談協議会（毎月） ●生活指導員連絡会（毎月） ●教育相談（随時） 14 人権総合学習交流会 21 人権総合学習開講式	●命の日アンケート ●心の木（葉） ●児童集会・なかよしタイム・委員会活動・クラブ活動（通年） ●学級での特別活動（通年）	●「わかる・できる」授業づくり ●人権教室
5	22 市同教理事研① 28 佐同教総会・研修会	●命の日アンケート ●心の木（葉）	●人権教室 ●部落史学習（平安時代）
6	3 人権総合学習 5 市同教総会・研修会 11 小６中社研修会 15 教育センター基礎講座 28 教育センター講座Ⅰ 29 市同教理事研②	●命の日アンケート ●心の木（葉）	●人権教室 ●人権集会 ●特別支援学級との交流 10 ふれあい道徳 19 ○○特別支援学校との交流 ●部落史学習（室町時代）
7	25 市同教管理職研（校長・支援教員） 26 市同教管理職研（教頭・担当者） 29 人権総合学習	●命の日アンケート ●心の木（葉）	●人権教室
8	5 人権総合学習 10 佐同教研究大会全体会 20 教育センター講座Ⅱ	6 平和集会	
9	28 差別と人権を考える佐賀県民集会	●命の日アンケート ●心の木（葉）	●人権教室 ●部落史学習（江戸時代）
１０	4 市同教理事研③ 14 佐同教課題別研究会「就学前教育」 26 佐同教研究大会分科会 28 人権総合学習	●命の日アンケート ●心の木（葉）	●人権教室 ●○○特別支援学校との交流 ●部落史学習（明治時代） ●部落史学習（大正時代）
１１	16 佐同教実践交流会Ⅰ	●命の日アンケート ●心の木（葉）	●人権教室
１２	22 人権総合学習	●命の日アンケート ●心の木（実）	●人権教室 ●人権集会
1	6 人権総合学習 19 人権総合学習 22 佐同教実践交流会Ⅱ	●命の日アンケート ●心の木（花）	●人権教室
2	4 市同教研究大会 23 人権総合学習閉講式 24 人権総合学習交流会 26 市同教理事研修会④	●命の日アンケート ●心の木（花）	●人権教室 ●人権集会 ●特別支援学級との交流
3		●命の日アンケート ●心の木（花）	●人権教室

〇〇小学校　2012年度　人権教育全体計画

2012. 4.

文科省「とりまとめ」	学校教育目標	児童・保護者の願い
〇自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動力を育む。 〇全教育活動を通じた人権教育の推進 〇ライフステージに応じた教職員研修	◎夢を持ち、仲間と共に元気に学ぶ子どもの育成	〇安心して登校することができる学校・学級づくり 〇意欲を持って学ぶことができる授業づくり 〇悩みを相談でき、適切に対処できる教職員集団づくり 〇関係機関と連携した子ども支援・家庭支援

佐賀県人権教育・啓発基本指針 佐賀市人権教育・啓発基本指針 佐同教および佐賀市同教研究課題	人権・同和教育の目標	校区の人権課題
	〇自分に自信を持ち、仲間と豊かにつながる子どもの育成	〇被差別部落や在日外国人、「障がい」のある子どもたちが自分の立場と生き方に誇りを持つことができるような支援の充実

人権が尊重される環境づくり	人権が尊重される人間関係づくり	人権が尊重される学習活動づくり
〇職員研修 ・人権教育推進のための校内職員研修 ・校外での一人一研修 ・人権総合学習に関する研修 **〇子ども支援体制づくり** ・校内特別支援教育委員会 ・生徒指導・教育相談協議会 ・生活指導員連絡会	**〇子ども一人ひとりの思いや願い・くらしをつかむ取り組みの推進** ・命の日アンケート ・心の木（心の葉、心の実、心の花） ・家庭訪問、個人懇談など **〇自分たちで考え、行動し、認められる活動づくり** ・学校全体 …学校行事、児童集会、なかよしタイム、委員会活動、クラブ活動など ・各学級・学年 …話し合い活動、係活動、学級の集会活動、朝の会・帰りの会など	**〇学校行事や総合的な学習の時間を活用した人権学習づくり** ・人権集会 ・平和集会 ・〇〇特別支援学校との交流 **〇各学年の発達段階にあわせた人権学習の実施** ・道徳や各教科等を活用した人権学習（ふれあい道徳など） ・相互理解を促進する人権学習 ・6年生における部落史学習 ・「わかる・できる」授業づくり

	環境づくりの目標	人間関係づくりの目標	学習活動づくりの目標
第1学年	〇保育所や関係機関との連携を図り、学校にスムーズに適応できるよう支援する。	〇友だちと関わり合う楽しさを感じる。	〇自分の「いのち」についての理解や体験を深める。
第2学年	〇子どものくらしを深く理解し、家庭を含めた支援をすすめる。	〇友だちのことをより深く知る楽しさを感じる。	〇「家族」についての理解や体験を深める。
第3学年	〇子どものつまづきを早期に発見し、家庭と連携した支援をすすめる。	〇友だちと助け合う楽しさを感じる。	〇「障がい」についての理解や体験を深める。
第4学年	〇子ども同士の人間関係を把握し、子ども同士をつなぐ支援をすすめる。	〇自分たちで活動を創り出す楽しさを感じる。	〇「性」や「労働」についての理解や体験を深める。
第5学年	〇子どもの悩みを早期に把握し、子どもとともに課題解決にあたる。	〇自分たちの思いや願いを実現する楽しさを感じる。	〇「水俣病」「ハンセン病」などについての理解や体験を深める。
第6学年	〇すべての子どもに悩み伝え合い、共に解決に向けて行動できる友だち関係を築く。	〇他者や地域の思いや願いを発信・行動する楽しさを感じる。	〇「戦争」や「差別」についての理解や体験を深める。